

# 図書館だより

第44号

2022年7月25日発行

姫路日ノ本短期大学図書館

## 図書館を活用しよう！

図書館長 谷本 章三

皆さんは、読書の習慣がありますか。本でも雑誌でも電子書籍でもかまいません。

読書にはたくさんのメリットがあります。一つ目は語彙力や文章力が養われることです。

本を読むと自分が日常の会話ではあまり使わない言葉や知らない言葉も出てきます。その結果自然とたくさんの言葉が身に付いてきます。同時に良い文章にたくさん触れることで、文章力の向上にもつながります。将来就いた仕事の中でも、例えば日々の連絡帳はじめ文章を書くことも多々あるかと思います。簡潔で分かりやすい文章や説得力のある文章が書けるようになると苦手意識がなくなったり、相手との信頼につながったりもします。その上教養や知識が増えることもあり、コミュニケーション能力が高まり自ずと日々の仕事にも生きてきます。

二つ目は想像力が豊かになることです。小説などでは、挿絵などを除きすべてのページに絵が付いているわけではないので、文章からすべての情報を読み取ることになります。文章から情景を思い浮かべたり、文章で明らかにされていない部分や先の展開を想像したり。逆に皆さんが最も利用している絵本では、文章が少ないものほど絵から作者や登場人物の心情に頭を巡らせ独自の物語を描いたりしますし、同じ絵本でも開くたびに自身の感じ方が変わったりします。想像力が豊かになることは、すなわち感性が豊かになり、人生に彩を与えたり、他人に共感する思いやりを持つことにもつながります。子どもだけでなく大人にとっても心を豊かにしてくれる素晴らしいものです。

三つ目は気分転換やストレス軽減につながることで、非現実や想像の世界に束の間でも身をゆだねることによって、いらいらした気持ちが収まったり、前向きな気持ちになったりします。もちろんどのような本を選ぶかを考えなければならないときもありますが。

このように読書には様々なメリットがあります。でも習慣がないと読書は続けにくいものです。では、読書を習慣化させるにはどのようにしたらよいのでしょうか。まずは、読みやすい気軽な内容のものや字数が多くない、あるいは字が細かすぎないものからチャレンジしてみましょう。読み切ると「読書への苦手意識」も克服できますし、次の本にもまた、手が伸びたりします。次に読む時間を決めることです。毎日同じ時間に読書することが有効ですがなかなかできるものではありませんので、できるだけ具体的な時間・タイミング・場所などを決めておくとよいと思います。例えば、行き帰りの電車の中や授業の空き時間、就寝前など。時間は1日10分でもかまいません。

さて、読書はしたいが街なかの本屋の数も減り、また、立ち寄る時間もない、書籍選びも悩ましい、それに書籍は結構高価なものが多いです。その点、短大の図書館ならば、いつでも立ち寄れる。お金もかからない、特に絵本をはじめとする幼児教育関係の書籍は他の施設よりも充実している。どの本を読めばいいかわからない場合にも、試し読み感覚で借りることができるし、仮に内容が面白くなかったとしても、別の本を借りなおせばいい。どうしても読みたい本があれば探してもらったり購入してもらえらることもある。そして借りたらすぐに図書館の前の談話スペースで読める。好いこと尽くめです。これはもう利用しない手はありません。短大生のための図書館です。さあ、気軽に図書館を覗いてみましょう。

## 行ってみたい素敵な図書館！ part 3 【こども本の森 神戸】

司書 高橋玉緒

このコラムも今回で3回目となりました。前回、前々回は遠出をしても行きたい図書館を紹介しましたが、今回は地元兵庫県のお出掛のついでに是非立ち寄って頂きたい、神戸三宮・東遊園地南エリアに今年春に開館した図書館を紹介します。

世界的建築家、安藤忠雄さん設計寄贈で大阪中の島、岩手の遠野に続く“こども本の森”という図書館で、その名の通り子どもの為の図書館ではありますが、どの世代でも楽しめる15のテーマ別の選書が魅力です。

子どもの頃はあまり本を読まず、大人になってから本の楽しさや大切さを知った安藤さんが、子どもたちに、出来るだけ多くの本と出会い豊かな感性を育てて貰いたいとの思いからつくられた図書館。エントランスの壁一面の絵本の表紙は字の読めない子どもたちも興味を持ちやすい展示になっています。その他、館内には子どもたちの興味を引く工夫が多数施されていて、本と建築を一度に楽しむことのできる素敵な図書館です。

尚、本の貸し出しは出来ませんが、隣の東遊園地までの持出は可能です。お天気のいい日には公園散策と読書もいいですね！

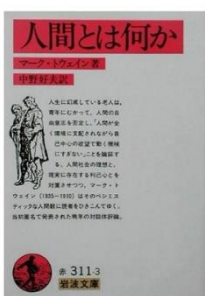


\* こども本の森・神戸公式 HP  
<https://kodomohonnomori-kobe.jp/>

### ○推薦図書○

#### 津田 敏 教授

「人間とは何か」 マーク・トウェイン 岩波書店 1973.6 ISBN : 978-4003231135



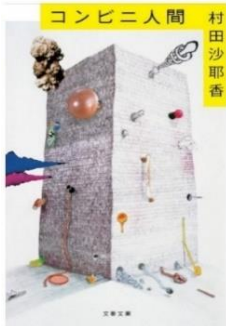
人生に幻滅している老人は、青年にむかって、人間の自由意志を否定し、「人間が全く環境に支配されながら自己中心の欲望で動く機械にすぎない」ことを論証する。人間社会の理想と、現実に存在する利己心とを対置させつつ、マーク・トウェイン(1835 - 1910)はそのペシミスティックな人間観に読者をひきこんでゆく。当初匿名で発表された晩年の対話体評論。

「ヒロシマ・ノート」 大江健三郎 岩波書店 1965.6 ISBN : 978-4004150275

広島は悲劇は過去のものではない。1963年夏、現地を訪れた著者の見たものは、十数年後のある日突如として死の宣告をうける被爆者たちの“悲惨と威厳”に満ちた姿であり医師たちの献身であった。著者と広島とのかかわりは深まり、その報告は人々の胸を打つ。平和の思想の人間的基盤を明らかにし、現代という時代に対決する告発の書。



「コンビニ人間」 村田沙耶香 文藝春秋 2018.9 ISBN : 978-4163906188



第 155 回芥川賞受賞作

「いらっしゃいませー!」お客様がたてる音に負けじと、私は叫ぶ。古倉恵子、コンビニバイト歴 18 年。彼氏なしの 36 歳。日々コンビニ食を食べ、夢の中でもレジを打ち、「店員」でいるときのみ世界の歯車になれる。ある日婚活目的の新入り男性・白羽がやってきて…。現代の実存を軽やかに問う。

「心淋し川」 西條奈加 集英社 2020.9 ISBN : 978-4087717273



第 164 回直木賞受賞作

不美人な妾ばかりを囲う六兵衛。その一人、先行きに不安を覚えていたりきは、六兵衛が持ち込んだ張形に、悪戯心から小刀で仏像を彫りだして…(「閨仏」)。飯屋を営む与吾蔵は、根津権現で小さな女の子の唄を耳にする。それは、かつて手酷く捨てた女が口にしていた珍しい唄だった。もしや己の子ではと声をかけるが—(「はじめましょ」)他、全六編。生きる喜びと哀しみが織りなす、渾身の時代小説。

「博士の愛した数式」 小川洋子 新潮社 2005.11 ISBN : 978-4101215235



1 回本屋大賞受賞作

「ぼくの記憶は 80 分しかもたない」博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた—記憶力を失った博士にとって、私は常に“新しい”家政婦。博士は“初対面”の私に、靴のサイズや誕生日を尋ねた。数字が博士の言葉だった。やがて私の 10 歳の息子が加わり、ぎこちない日々は驚きと歓びに満ちたものに変わった。あまりに悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。

「旅屋おかえり」 原田マハ 集英社 2014.9 ISBN : 978-4087452259



あなたの旅、代行します!売れない崖っぷちアラサータレント“おかえり”こと丘えりか。スポンサーの名前を間違えて連呼したことが原因でテレビの旅番組を打ち切られた彼女が始めたのは、人の代わりに旅をする仕事だった—。満開の桜を求めて秋田県角館へ、依頼人の姪を探して愛媛県内子町へ。おかえりは行く先々で出会った人々を笑顔に変えていく。感涙必至の“旅”物語。

## 谷本 章三 教授

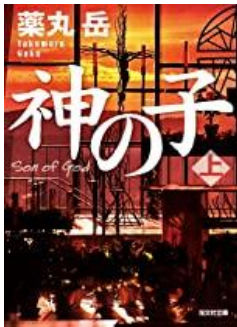
「階段ランナー」 吉野 万理子 徳間書店 2022. 1 ISBN : 978-4198653354



悩み多き高校生の男女が階段の駆け上りに挑戦することにより一歩踏み出す青春小説です。気軽に読めるので、ぜひ。

## 山本 郁子 教授

「神の子（上・下）」 薬丸 岳 光文社 2016. 12 ISBN : 978-4334773915  
ISBN : 978-4334773922



「薬丸岳」は、少年犯罪などを題材に犯罪被害者と加害者の心理を巧みに描く社会派ミステリーを手掛ける小説家である。

「神の子」は、戸籍がない少年、闇の世界（振り込め詐欺グループ）、欠けている心、ミステリーであり人間を描いたヒューマンドラマである。

I Q 161 以上の主人公は、過酷な人生を送ってきた。戸籍がないので義務教育も受けず、本の知識を頼りにしてきた。周りの人にも心を開かず何が本音なのか分からない。しかし、行動などに人を思いやる気持ちが見え隠れしている。主人公が周りの人に影響されて少しずつ変わっていく様子が描かれている。謎の組織、大切な仲間、もうひとりじゃない。「神の子」には多くの感情が描かれている優しさや悲しさ、怒り、喜び、孤独感や絶望を感じるが、最後には救いがある。

## 小野 昌二 教授

「おこだでませんように」 くすのき しげのり 作・石井 聖岳 絵  
小学館 2008. 6 ISBN : 978-4097263296

「ぼくはいつもおこられる。いえでもがっこうでもおこられる。」とはじまる絵本です。もう、多くの人はこの絵本にふれられたことがあると思います。

僕だけが悪いわけではないのに、思っていることがきちんと伝えられないことってありますよね。私も、子どものころ、一生懸命したことに関して、「なんでそんなことしたんや。」と怒られた記憶がよみがえってきます。

主人公の「ぼく」は、七夕の短冊にこんなふうには書きました。「おこだでませんように。」おぼえたてのひらがなを一生懸命練習して書きました。

それを見た先生は、お母さんは、どんな反応だったのでしょうか。みんな一生懸命やってるんだけど、思いをうまく伝えられないことってありますよね。きっとみんな正しいのだと思います。いろんな人の立場で、いろんな角度からあらためて、読んでみてください。きっと毎回違う読み方があると思います。



## 崎浜 聡 准教授

「イルカえほん」 株式会社リーバン 作 株式会社リーバン 2016.3

乳児（0～2歳児）の絵本を紹介します。

仕掛け絵本で絵本真ん中のイルカを押すと「キューキュー」と泣きます。聴覚の発達は、高音から聞こえるようになるため、子どもの発達に即した絵本と言えます。物語は、イルカのあかちゃんが、海の中で出会う様々な友達（魚やタコ）と楽しく遊び、終わるとお母さんイルカが迎えに来てくれる、という乳児の園生活と重なるような内容になっています。



## 「Sassyのあかちゃんぬのえほん あーそーぼ」

La Zoo 作 KADOKAWA 2019.11 ISBN : 978-4041078853

発達心理学の視点から、乳児（0歳～）の「視覚」（色、模様）、「触覚」（布、仕掛け）、「聴覚」（朗読）を刺激する布で出来た仕掛け絵本です。



## 日ノ本短期大学図書館 秘蔵図書紹介

司書 永野 順子

『教育博物館』 唐澤富太郎 著（出版社：ぎょうせい）1977年

今回、ご紹介するのは、日本教育史研究で、実物からアプローチする独自の業績をあげた「唐澤富太郎（1911～2004年）」が、生涯をかけて収集した伝統的事物の一部（1977年時点）をまとめた資料集です。

（※ 個人博物館には数万点にも及ぶ研究資料が存在するようです）

『教育博物館』は、江戸時代からの「子どもの学びと遊び・暮らし」の視点からとらえた4冊（解説を含む）と復刻軸3本からなる蔵書で

収録されている収集品は、著名な作家の作品や芸術品ではなくポピュラーな普通の暮らしに使用されていたものですが、実は、単純なものほど残っておらず 例えば『戦前からやっている地方の玩具店に依頼して蔵から戦前・戦中の玩具の売れ残り品を苦労して探し出した』（解説より）と記されています。

昔なつかしい雰囲気教科書や玩具、寺子屋風景など・・・皆様なりの発見があると思います。

\* 唐澤博物館公式サイト <http://karasawamuseum.com>

\* 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北3丁目5-5・03-3991-3065

